

* 地域に出かけています *

4月の出前保育

各地域に出かけ、遊びと相談の場を設けています。時間：9時30分～11時30分



【藤橋コミュニティセンター】



【小島公民館】



幼稚園でも遊ばせてもらいました



【大和公民館】



4月、上の子が入園してホッとしている親さん、寂しさを感じている親さんと様々ですが、下の子を連れて利用が始まり、支援センターはいつものようににぎわっています。

出前保育では地域を散歩し、親子でタンポポを摘んだり桜やハナモモを見たりして、春の自然を楽しみました。幼稚園では園長先生に新入園児のようすを聞くことができホッとする親さんの姿が見られました。

未就園児親子のみなさんを待っています

日	曜	実施場所・内容
13	水	出前保育：養基保育園（園児とのふれあい） 町立幼稚園なかよしタイム（園庭などを開放）
20	水	★私立揖斐幼稚園開放日 園庭と園内の一部を開放・電話で要申込 TEL (0585)22 - 6008
21	木	★春日保健センター：出前保育 料理教室（託児有・子育て支援センターへ要申込）
27	水	出前保育：いび幼稚園（園児とのふれあい） 町立幼稚園なかよしタイム（園庭などを開放）
28	木	★出前保育：藤橋コミュニティ（自然にふれよう）

◇ ★印は、どの地域の方も利用できます。
居住地域外のなかよしタイム参加希望者は当園へお問い合わせください。
◇ 開設時間 9時30分～11時30分
◇ ホームページ 揖斐川町（幼稚園含） <http://www.town.ibigawa.lg.jp/>
私立揖斐幼稚園 <http://www.ibi-youchien.ed.jp/>

揖斐川子育て支援センター開館日
月曜日～金曜日（9時～16時）
第3土曜日

※休館日 土・日曜日 祝日

「子育て支援センター通信」を毎月発行しています。ご覧ください。

子育て支援センター・幼児園・図書館・公民館・保健センター・役場・振興事務所などに置いてあります。揖斐川町ホームページにも掲載しています。
<http://www.town.ibigawa.lg.jp>

☆ 子育て支援センターは、子ども（0～18歳未満）のあらゆる相談窓口です。一人で悩んでいないで気軽にご相談ください。☆TEL (0585) 23-1136

6月の行事予定

- 4日(月) サロンひだまり
【地域の方との交流：父・祖父】
- 5日(火) お話ルーム（おはなしの会まど）
【大型絵本・エプロンシアター】
- 8日(金) ♥りんご（2・3歳児）交流
【小麦粉粘土あそび】
- 11日(月) ♪リトミック
【親子でリズムに合わせて…】
- 12日(火) ♥いちご（1歳児）交流
【てんとう虫づくり】
- 14日(木) 発育測定（9時半～10時15分）
【保健師・栄養士に育児相談可】
- 16日(土) 第3土曜日開放
- 18日(月) ♥歯科指導
【歯科衛生士による指導】
- 19日(火) ♪ベビーマッサージ
【対象：3か月～12か月児】
- 22日(金) ♥さくらんぼ（0歳児）交流
【でんでん虫づくり】
- 25日(月) ♥ドレミのひろば
【ゲームあそび】
- 26日(火) ♥七夕会
【地域の方・祖父母の方と一緒に】

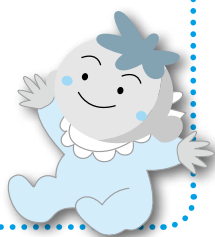
※行事参加の申込みは、実施日の前日まで受け付けています。
♪♥は要申込み ♪は人数制限あり

行事に参加しなくてもいつでも遊べます

※毎週月曜日・育児相談日

※毎月第4月曜日・うさちゃんの日（乳幼児障がい相談）
相談は、毎日受け付けています。
一人で悩んでいないで気軽に
ご相談ください。

子育て支援センターは
いつ来ても遊べる場所です



サロンひだまり



毎月1回、地域の方とお茶をしながら話を聞く日を設けています。4月は「祖母・姑」という立場の方に来ていただきました。

おばあちゃん達が孫の面倒をみる時、またお嫁さんに声をかける時の胸の内を聞いて「おばあちゃんたちもあんなに悩んでいるんだということを知り、驚きました」という声がお母さん達から聞かれました。互いが精いっぱい気遣いながら暮らしていることを学ぶ機会になりました。



おばあちゃん達の話
を聞きました。



子育てのアドバイスも
もらいました。

いきいき園キッズ!

●ボク達もがんばるぞ!

〜きたがた幼児園〜

『地域の伝統行事を継承する心を育てる』をねらいとして、5歳児が町文化財指定の「北方踊り」と「ほのぼの太鼓」を地域の方から教わっています。

4月15日(日)に北方神社での北方祭りに参加し、踊りと太鼓を奉納しました。



踊りの出番を待つ間、小学生や大人が太鼓とシナイの準備をしている姿を見て、子ども達はそのシナイの大

きさにビックリ!

「うわあー!でっかいー!」

「あんな大きい重くないかなあ〜」

と迫力に圧倒されながらも

「小学校へ行ったら踊るんだよ」

という保育士の言葉に、次世代の伝統の担い手としての目が輝いていました。

